

せいろうまち せ 聖籠町

議会だより



今年が国体本番 サッカープレ大会（スポアイランド聖籠）

VOL.
86
平成21年4月17日発行

平成21年度予算を修正 2～4ページ

議長変わる 12ページ

一般会計予算を再議に（3/21臨時議会） 13ページ

平成21年度 一般会計予算を修正

予算審査特別委員会

平成21年度一般会計予算・特別会計予算の8会計を、3月11日、12日、13日及び16日の4日間にわたり、各款毎に白熱した質疑応答の中で審査を行いました。

町議会が初めて当初予算案を修正しました。

算案を修正しました。一般会計当初予算の「ウエルネスパーク聖籠」に地域交流施設「ふれあいセンター」を建設する事業を削った修正案を8対4の賛成多数で可決しました。

活力・魅力あふれる産業づくり (農業、漁業、商業、観光など)

主な事業概要

○農産物加工センター建築事業	8100万円
○水田農業確立対策事業	1億136万円
○町商工会運営事業	700万円
○町観光協会運営事業	2570万円



快適な生活空間の創造 (道路、都市計画)

主な事業概要

○道路維持管理、改良事業	4億5429万円
○ふれあいセンター整備事業区画整理事業 (削除)	8890万円
○住宅管理事業	2172万円
○循環バス事業	3087万円

質疑

問 農産物加工センターの整備計画案はどうなっているか。農業振興にどうつながるのか。

答 農産物加工施設の整備により、農家による農産物の研究・試作・製造・販売を促進させたい。

問 近隣に聖籠町をアピールする観光事業が昨年から実施されているが、今年度はどのようなものになるのか。

答 主に新潟市の人の参加があり好評であった。参加費4950円で即日完売であった。今年度は、昨年より回数を増やして行う。

質疑

問 宅地が売れていないのに、「ふれあいセンター」建設は時期尚早ではないか。

答 国のまちづくり交付金を受けた「次第浜山土地区画整理事業」である。

センター建設は、国の交付金の対象である。

問 佐々木駅経由のエコバスは利用者に対し、電車が遅れた場合などどのように対応しているか。

答 バスの時刻表運行はあるが、電車の遅れなどには適宜対応するように指導している。



安全で安心できる暮らしの実現 (防犯・防災、子育て支援、児童・高齢者福祉など)

主な事業概要

広域消防負担金・消防事業	2億5425万円
防災事業	4641万円
交通安全・防犯対策事業	2265万円
障がい福祉事業	1億7408万円
母子保健衛生事業	4465万円



質疑

問 個人宅への、住宅用火災報知器の設置助成は、どういう計画か。対象となる世帯はどのくらいか。

答 1世帯にいくらか助成するの。

問 21年度、2000世帯分計上した。火災報知器のレシートを貼って申請。助成は購入金額の1/2で上限は1万円である。

答 妊婦検診が5回から14回に増えるが、20年度から21年度にかけて検診をする妊婦はどうなるのか。

問 20年度末までの受診券を手渡してあるが、21年度、4月切替時の週数によって、14回までの残回数券を渡す。

8会計総額

112億523万円
(前年度対比1.9%増)

○一般会計	76億2910万円 (4.5%増)
○国民健康保険特別会計	事業勘定 12億4881万円 (0.9%増) 施設勘定 1億2278万円 (0.7%減)
○老人保健特別会計	1716万円 (98.0%減)
○介護保険特別会計	9億473万円 (10.9%増)
○後期高齢者医療特別会計	7326万円 (7.6%減)
○新潟県営開パイロット事業	聖籠町特別会計 766万円 (11.6%減)
○公共下水道事業特別会計	8億5105万円 (1.5%減)
○水道事業	収益会計 2億5048万円 (1.1%増) 資本会計 1億1565万円 (49.2%減)

国体セーリングに向け 艇庫完成 (網代浜海岸)

第64回国民体育大会の施設整備事業として、ヨット等を保管する艇庫が完成します。完成した艇庫は、町の社会体育施設として、条例に追加されました。艇庫には、24台のヨット等が保管できます。申し込み窓口は社会教育課で開館時間は午前7時から午後8時までです。使用料は、日額1区画30円です。

主な質疑

国体が終わった後 どうなる

小川益一郎議員 艇24台分保管できるということだが、24台というのは適正なのか。国体が終わった後、艇庫以外にも使用可能なのか。1日30円の使用料の根拠は。

国体が終わった後、ただの倉庫になる懸念はないか。管理をどう考えているか。

国体後6台の 予備艇を保管

社会教育課長 国体競技中は艇が20台入る予定である。国体終了後は、再来年の千葉国体に向け、予備艇6台を保管する。在勤、在住のセーリング愛好家を優先に県内のセーリング関係者に利用してもらいたい。

1日30円の使用料については、関係者の協議で1カ月使用しても1000円程度の使用料なので、適正だということで設定した。



▲風をうけて走るヨット

3月定例会

平成21年第1回定例会は、3月3日から17日までの15日間の会期で開かれました。町長から新年度の施政方針表明があり、平成20年度補正予算、平成21年度予算、聖籠町社会体育施設条例の一部改正、聖籠町国民健康保険税条例の一部改正、聖籠町教育委員会委員の任命など34議案を慎重に審議し、平成21年度予算では、一般会計予算を修正し、教育委員会委員は不同意としました。また、平成21年度税制「改正」関連法案において、消費税の税率引き上げをおこなわないことを求める意見書など4件を可決しました。一般質問では、6人の議員が、次第浜浜山地区土地区画整理事業、生産調整、介護保険などについて、2日間にわたり、町政全般を質しました。

平成21年度 一般会計予算を修正



開かれた行財政の推進 (広報、広域行政、一般旅券発給など)

主な事業概要

○広報広聴活動の充実事業	430万円
○広域行政の推進事業	1001万円
○一般旅券発給事業	17万円
○消費者行政事業	263万円

質 疑

問 消費者相談員の配置は、どこにどんなことをするのか。
答 総務課の中で、町民からの消費生活に関する相談体制を強化するため、専門相談員を配置する。
問 新潟県地方税徴収機構とは何か。町の負担金は今後どうなるのか。
答 新潟県と県内30市町村で構成する。各市町村から1人を出向させ、共同で長期、高額滞納者について対策する。負担金は、事務所における光熱費などで今後、負担増になることはない。

個性豊かな人・ふるさとづくり (幼・小・中学校、社会教育、国体など)

主な事業概要

○学校管理事業	6億7200万円
○国際交流事業	397万円
○国体推進事業	1億6365万円



質 疑

問 小・中学校におけるQ₁U₁テストとは何か。県内、全国ではどのくらい取り組んでいるのか。
答 Q₁U₁テストとは、児童、生徒の心情テストであり、学校での満足度など内面を見るものである。県内でも多くの自治体で実施している。
問 国体は今年が本番であるが、今の人員体制で大丈夫か。
答 人員数は決して多くはないが、このままで本番に向けていく。臨時職員を事務員2人、各競技に1人ずつ3人を配置する。

聖籠町国民健康保険税条例を一部改正

国民健康保険法の改正により国民健康保険税の介護納付金賦課額の限度額が9万円から10万円に見直しされます。

本町においては、見直しされる対象世帯は64世帯です。

この議案については、反対討論があり、採決は起立で行い、起立多数で可決しました。

反対討論

中村恵美子議員

国民健康保険税の上限額が上がることにより、64世帯の人が滞納や医者にかかることができなくなるのではないかと心配しています。

国民健康保険税の上限額が9万円から10万円に上げられることは、百年に一度の不況の中、大変なので反対です。

聖籠町介護保険条例を一部改正

介護保険法の改正に伴い、聖籠町介護保険事業計画の見直しが行われました。

介護保険料の改正に伴い、聖籠町介護保険事業計画の見直しが行われました。

この議案については、反対討論・賛成討論があり、採決は起立で行い、起立多数で可決しました。

賛成討論

高松 守雄議員

また、国が介護従事者の処遇改善をはかるため、介護報酬引き上げを行います。

今、介護施設の現場において、介護にあたる従事者不足が大きな問題となっている。介護従事者の労働賃金が低いことも一因である。この改正案は、その処遇改善をはかるための処置である。

また、新年度予算においても、一定額を超える介護保険料の別途助成の考えもあり賛成である。

反対討論

中村恵美子議員

介護保険料が4100円から4750円に上がる。4500円を超える2500円については町が支援するが、2年後は考えていない。お年寄りの人の負担増になるので反対である。

聖籠町後期高齢者医療に関する条例を一部改正

後期高齢者医療制度の保険料について、試行前から見直しが繰り返されています。

平成21年度についても、新潟県内全市町村で統一し、昨年同様、暫定賦課をしません。

7月から翌年3月まで9回に分けて保険料を徴収することになります。

議会選任の

監査委員を同意



加藤 正之さん

平成21年2月13日をもって、議会からの監査委員須貝龍夫さんが辞職しました。

後任に加藤正之さん(蓮野)の同意を求める案件が出され、異議なしで同意されました。

教育委員を不同意

平成21年4月4日をもって、任期満了になる教育委員会委員坂口眞生氏の同意案件に対し、投票で採決を行い、反対7票、賛成4票で不同意となりました。

一般会計補正予算

保育所施設整備事業補助金	3837万円
財政調整基金積立金	1億1747万円
観音の湯ざぶ〜ん館維持基金積立金	1750万円

平成20年度一般会計の既定予算に4644万円を追加し、総額79億8924万円とするものです。

主なものに、保育所施設整備事業補助金3837万円、財政調整基金積立1億1747万円、観音の湯ざぶ〜ん館維持基金積立金1750万円、町営住宅及び共同施設維持基金積立金2200万円などです。

主な質疑

保育園いつオープンなのか

小川益一郎議員 新しく私立の保育園ができる予定だというのが、どこに建設されて、面積、規模、企業主体はどこか。保育料はどうなるのか。

21年秋頃オープン

保健福祉課長補佐 次第浜浜山地区の介護付有料老人ホーム「加治川の里」隣に建設される。面積992平方メートル、建物規模399平方メートル、企業主体は、(仮称)社会福祉法人真心福祉会。保育料は国の基準で町の子ども園と同じである。定員は30人。



▲元気で遊ぶ子どもたち



▲健康を維持する運動

一般会計補正予算

定額給付金給付事業補助金 2億1476万円
子育て応援特別手当支給事業補助金 831万円

定額給付金 子育て応援特別手当 支給決まる

国会で議決されたこと
によって、定額給付金、
子育て応援特別手当が、
平成20年度一般会計補正
予算に計上されました。
既定予算に2億321
6万円を追加し、総額82
億2141万円とするも
のです。
申請受付開始は、平成
21年4月6日(月)、最終
申請期限は平成21年10
月6日(火)
※最終申請期限までに申
請がない場合は辞退した
ものと扱われます。

主な質疑

町民への
具体的な対応は

五十嵐利栄議員 町民が
行う定額給付金の申請の
手順はどうなるのか。
いつ、どこで、本人確
認のコピー等は持参して
もいいのか。
振り込み詐欺対応をど
う考えているか。
一定の時期が過ぎても
申請がこない場合をどう
考えているか。

封書で
全世帯に通知

総務課長 4月1日に町
内全世帯へ封書で申請申
し込みの通知をする。

一口メモ

●定額給付金
住民基本台帳に記録されて
いる方又は外国人登録原票に
登録されている方(短期・不
法滞在者除く)で、2月1日
現在の年齢が65歳以上又は18
歳以下の方は、一人当たり2
0000円。それ以外の方は、
一人当たり12000円が給
付されます。

●子育て応援特別手当
平成14年4月2日から平成
17年4月1日までに生まれた
第2子以降の子どもを対象と
し、世帯主からの申請により、
支給対象となる子ども1人に
つき36000円が支給され
ます。



▲お母さんと一緒に楽しいな

消費生活相談事業

第64回国民体育大会

生産調整達成に向け、 町単独助成制度を創設

施政方針表明



渡邊町長

▼21年度においては、国
政の動向を踏まえながら、
個性ある町づくりを進め
ていきます。
景気後退に伴う雇用情
勢を踏まえて、1月に実
施した緊急雇用対策事業
を引き続き実施します。
また、高齢者等を標的
に多発している振り込め
詐欺等の問題に対処する
ため、消費生活相談事業
を実施します。
▼9月26日から10月6日
の11日間、第64回国民体
育大会が開催されます。

成年女子サッカー競技
は、スポアイランド聖籠
で、9月27・28日、30日
の3日間、7試合の開催
です。10月2日から5日
の4日間、町民会館でフ
エンシング競技。網代浜
船だまり特設会場でセー
リング競技が同時開催で
す。
10月4日、聖籠中学校
体育館でデモンストレー
ション競技のパウンドテ
ニスが開催されます。
昨年のリハール大会
の経験を生かし、町を挙

げて成功に向け努力しま
す。

▼納税対策について、4
月から新潟県と各市町村
で新たに設立する「新潟
県地方税共同徴収機構
(仮称)」に加入し、長期
・高額等困難な滞納案件
の処分を委任します。
▼消防法の改正により、
平成23年5月までに火災
警報器を設置することが
義務づけられました。21
年、22年度の2年間、一
般住宅への火災報知器購
入の一部助成を行います。
▼本町における生産調整
達成に向け、新たな町単
独助成制度を創設します。
当初予算ベースでは1
億円を計上していますが、
実績によっては補正対応
をします。

平成21年度では、農産
物の加工による付加価値
化、新たな販路の確保、
農業者への収益の場の提
供などに対応するため、
農産物加工センターを建
築します。

みなさんの

請願・陳情

第1回定例会では、地域
住民より直接の声となりま
す請願4件、陳情2件を審
査し、請願2件、陳情2件
を採決。請願2件を継続審
査としました。

採択となった請願

◎平成21年度税制「改正」関連法
案において、消費税の税率引き
上げをおこなわないことをも
とめる請願〔提出者 消費税廃止
新潟県各界連絡会 代表 能登
惣五郎〕

◎金融危機に端を発する大量解雇
・雇い止めから雇用とくらしを
まもる緊急対策の強化を国に求
める意見書提出を求める請願
〔提出者 09国民春闘新潟県共闘
会議議長 佐藤 一弥〕

採択となった陳情

◎地域間格差を拡大する「地方移
譲」に反対し、国土交通省地方
出先機関の存続を求める要請書

〔提出者 国土交通省全建設労働
組合北陸地方本部 新潟地区協
議会 議長 佐藤 真樹〕

◎C型肝炎被害者救済の意見書採
択に関する陳情〔提出者 カル
テのない薬害C型肝炎の全員救
済を求める新潟の会 代表 佐
藤 静子〕

継続審査となった請願

◎アフリカ・ソマリア沖への自衛
艦派遣に反対する請願〔提出者
憲法を守る新潟県共同センター
代表委員 能登 惣五郎、佐藤
一弥〕

理由・委員間で様々な意見がある。
また、高度な政治判断が必要
であり、調査不足のため、継
続審査とした。

◎家族従業者の人権保障のため
「所得税法第56条の廃止を求め
る意見書」採択を求める請願
〔提出者 新発田民主商工会婦人
部部长 渡辺 久恵〕

理由・委員間で様々な意見がある。
調査不足のため、継続審査と
した。

第1回定例会で4件の意見書をすべて全会一致で可決しました。可決した意見書は、国県の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

◎平成21年度税制「改正」関連法案において、消費税の税率引き上げをおこなわないことを求める意見書

◎金融危機に端を発する大量解雇・雇い止めから雇用とくらしをまもる緊急対策の強化を国に求める意見書

◎地域間格差を拡大する「地方移譲」に反対し、国土交通省地方出先機関の存続を求める意見書

◎C型肝炎被害者の救済に関する意見書

1月13日、第1回臨時会が開催され、聖籠町特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部を改正する条例、聖籠町教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例、平成20年度聖籠町一般会計補正予算(第6号)、平成20年度聖籠町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)が提案され、いずれも慎重審議され、たうえ全議案とも原案のとおり可決されました。

聖籠町特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部改正

聖籠町立亀代小学校給食コンテナ落下死亡事故における道義的責任として、町長の給与1ヵ月分の10分の1に相当する額を減給するため条例の一部改正するものです。

平成20年12月4日午後2時頃発生した亀代小学校給食配膳室搬入口において、給食調理場の給食運搬コンテナ落下に伴う死亡事故について、給食業務等の委託をしている町の最高責任者として、かつ受託をしている町の出資会社(株)聖籠の杜の取締役として、社会通念における道義的責任を痛感

し、一応のけじめから自らを戒め、律するため、町長の給料1ヵ月10%減額する処分を行い、二度とこのようなことのないよう努めるものです。

読者の声



澤田 孝志さん (亀塚)

「最近思うこと」

議会だよりを読ませていただいたと感じたことは、紙面をとおして議員さんの熱意が伝わってきて、議会で相当の議論が交わされているんだろうなと傍聴したことの無い私は、勝手に思っております。ただ、紙面だけだとその場の臨場感や緊張感が伝わらず残念に思います。すでに、かなりの議会(国会はじめ自治体でも)映像をライブや録画にて配信しております。平成19年より町内全域にインターネット回線が

整っているので、聖籠町の議会のネット配信を、是非検討していただきたいと思えます。

このようなコンテンツだと小、中学校の子どもたちにも見させたいなと思えます。

実は、我が家では回線は開通しているのですがPTA関連のお手伝いをするようになりパソコンからケーブルを外した経緯がありました。

便利な反面、有害サイトやプログラムの書き込み、メールのやり取り等、規

制するためにはありましたが、この4月1日より「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」が施行されるとのこと。

インターネットの利用に際し、子どもの成長とともに判断基準は変わっていくので、保護者としてはネット上に有害情報が氾濫していることを認識した上で、フィルタリングを十分利用し、子どものインターネットの利用のルールを決めて、しっかり見守っていききたいです。

議員の皆様におかれましては、町民から町を良くしてあたりまえと思われがちで大変かと思いますが、今後とも一人ひとりの声に耳を傾けそして反映させていただきたいと思えます。

聖籠町議会活動の今後の益々のご発展をお祈りいたします。



▲改良した給食搬入口

主な質疑

事故原因の特定は

五十嵐利栄議員 原因究明には至らず、特定できない現況だということであるが、教育委員会の落下事故の報告書には原因について車が移動したことが原因とされているが、特定されない理由は。

車の移動は把握

町長 車の移動は把握しているが、専門的によどのような関係で移動したのか、素人の目で特定できていない。

町民にお詫びしたか

小川益一郎議員 社会通念における道義的責任というのは非常に抽象的である。

この事故に対し町民にお詫びすべきであるし、広報1月号でも可能であったがお詫びしていない。町挙げて弔慰を表し喪に服することは一切ない。減給することは一種のパフォーマンスなことか。

被害者に対し見舞金、退職金、自賠責保険、労災給付金さらに慰謝料を支払う用意があるか。

議会を通してお詫び

町長 町民となれば一人ひとりである。町長が頭を下げて謝って歩くことは到底無理である。

議会の場を通じて、議会の理解を得ながら町民に情報を開示して周知をはかっている。被害者に対しては自賠責保険、労災保険、見舞金で対応してもらい、慰謝料については、誠意をもって対応することで理解を得たい。

第1回臨時議会 [1月13日(火)]

町長・教育長の報酬10%カット

第2回臨時議会 [2月14日(土)]

高松春雄氏議長辞任・新議長に須貝龍夫氏

2月14日、第2回臨時議会が開催されました。高松春雄議長が一身上の都合により1月31日付け議長辞職願が提出されていることから、高松春雄議長辞職の決議及び新しい議長選任選挙が行われました。また、これに伴う新発田地域広域事務組合の議員の補充選挙、議席の一部変更、常任委員の所属変更、議会運営委員の辞任及び補充の選任も行われました。

議長辞任あつらひ

体調を害し治療に専念することから、重責である議長職を辞し後任に思いを託したい。

高松 春雄

新議長あつらひ



須貝 龍夫

2月14日、議会臨時会において議長に就任致しました。今後も、町づくりに思い切った行財政改革を進めていかなければならないと思っております。町民全体の代表者で構

成している議会の長として、執行機関に対し、今まで以上の監視とチェックの強化をはかっていきます。また、町民に身近でわかりやすい議会と評価されるよう、地方分権にふさわしい開かれた議会運営に努めたいと思っております。町民皆様の特段のご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶と致します。

議長選挙 動議提出

小川益一郎議員 誰が議長になりたいのかわからない。

立候補したい人の意思表明してもらいたい意見を聞きたい。

採決の結果
動議に賛成 6人
反対 7人
動議は否決

議長選挙
須貝 龍夫議員 7票
加藤 正之議員 7票
同数のため地方自治法第118条第1項の規定により当選人を「くじ」で決定する。
くじの結果
当選人 須貝 龍夫議員



議長等変更に伴う各種委員の変更

- 新発田広域事務組合議員 須貝 龍夫議員
- 常任委員会の変更
- 総務文教常任委員会 委員 宮澤 光子議員
- 委員 須貝 龍夫議員
- 厚生産業常任委員会 委員 高松 春雄議員
- 議会運営委員会 委員 田宮 実 議員

第3回臨時議会

「3月21日(土)」

平成21年度 一般会計予算を再議し廃案

平成21年第3回臨時議会が、3月21日、1日間の日程で開催されました。

平成21年第1回定例会において、議決した、議案第28号「平成21年度聖籠町一般会計予算(ふれあいセンター建設予算を削除)」に、町長から異議があり、議案第28号を再議しました。

再議の採決には、議長にも表決権があり、修正を確定するには議員総数の2/3以上の数が必要です。最終的に議案28号は廃案になりました。(聖籠町議会議員数14人で2/3は10人)

主な質疑

国に対し建設延期を交渉すべき

小川益一郎議員 ふれあいセンター建設には基本的に反対はしていない。しかし、ふれあいセンター建設予定地には、まだ約20世帯しか家が建っていない。100年に1度の経済危機で分譲地の販売は厳しいものがある。環境が整うまで建設すべきでない。

国への交渉を努力しないのか

五十嵐利栄議員 ふれあいセンターについて再三再四、一般質問をしてきたが内容がどんどん変化していった。基本的に建設に反対している訳ではない。しかし、計画の2%しかない世帯の集落にふれあいセンターを建設するのは時期尚早である。

事業期間が今年で最後

町長 国から事業採択され、今年で事業期間が終了。事業の進捗は、約8割で国の交付金も、1億1000万円交付されている。ふれあいセン

国との信頼を大事にしたい

町長 今まで浜山土地区画整理事業について議会に説明をしてきた。国に対して提案という形でこの事業に交付金をもらっている。事業計画の中にふれあいセンター建設も含まれていて認められた。国との信頼関係もあるので理解してもらいたい。

保健福祉活動とは何か

中村恵美子議員 ふれあいセンター建設の意味づけの中で、保健福祉活動ということが初めて出てきた。保健福祉活動とは具体的に何を指しているのか。

子育て支援事業など考えられる

町長 地域交流施設という意味合いの建設であるから、社会教育、保健福祉活動でも利用してもらいたい。具体的には、地域にある子育てグループや公民館などを利用しての福祉事業なども利用できる施設にしたい。



▲販売促進が期待される汐見台

6議員が質問

— 宮 沢 光 子 議員 (16ページ) —

- 1. 検証しているか教育施策
- 2. 新規事業の具体的な計画は
- 3. 新型インフルエンザの対応策は

— 五十嵐 利 栄 議員 (17ページ) —

- 1. 販売完了見込みは
- 2. 安全対策大丈夫か
- 3. 米飯週5日制を

— 小 林 政 榮 議員 (18ページ) —

- 1. どうする町民との絆
- 2. 生産調整どうする
- 3. どんな町を創造するのか
- 4. 全町化へ取り組むべき

— 小 川 益一郎 議員 (19ページ) —

- 1. ふれあいセンター建設は時期尚早
- 2. 農産物加工センターは町民の合意を得よ

— 加 藤 正 之 議員 (20ページ) —

- 1. 給食なぜ翌日も続けた
- 2. ふれあいセンター疑問
- 3. 米粉パンを給食に
- 4. 認定農業者の今後は

— 中 村 恵美子 議員 (21ページ) —

- 1. 避雷針を設置せよ
- 2. 国に要望すべき
- 3. 資格証発行はするな

ズバリ 直言

町政を聞き 一般質問

第3回臨時議会

平成21年度一般会計予算成立 (総額77億590万円)

(仮称) ふれあいセンターを
規模縮小し再提案
外構工事を凍結

平成21年度一般会計予算が廃案になったことにより、予算を見直し、再検討して、新予算案が出されました。

ふれあいセンターの規模を縮小し、当初提案額8890万円から1210万円を減額して、7680万円とします。

この議案については、起立採決により、賛成多数で可決しました。

主な質疑

条例を制定するのか

宮沢光子議員 町をどうしたいかという事で、町づくり交付金をもらうはずである。建物を建てる事が目的ではない。建物を作っただけ、人をどう集め利用してもらうかではないか。町民が公平に利用できるような条例制定をどう考えているか。

**条例制定し
利用促進する**

町長 地域交流センターの要素を含んだ多目的な施設である。多様な形で町民が利用できる施設にしたい。条例制定のさいには議会の理解を得られるように努力する。

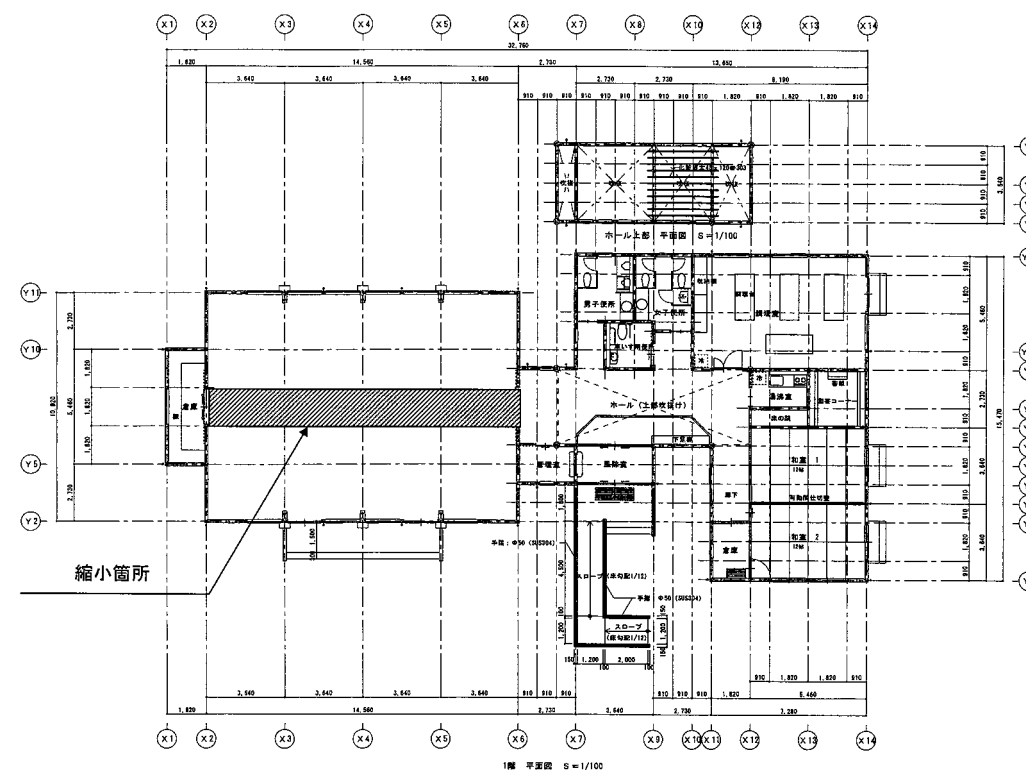
外構工事を凍結できるか

加藤正之議員 外構工事予算はいくらか。外構工事を凍結し減額することで、以前に説明していた建物の予算になるのではないか。

21年度に入り減額する

町長 外構工事(1490万円)は一般財源対応である。新年度に入ってから減額する。

(仮称) ふれあいセンター



当初設計	寸法	W=10.92m	L=14.56m	規模縮小後	寸法	W=9.1m	L=14.56m
	面積	361.05㎡ (109坪)			面積	331.24㎡ (100坪)	



宮沢 光子議員

検証しているか教育施策

教育長 教育施策の効果はある

問 全国学力テストで秋田県は、2年連続トップクラスの結果を残した。秋田県の高学力の主な要因を、秋田大学の教授が考察している。

①児童生徒は授業中の私語が少なく学習に対する姿勢が前向き。

②教師は授業の中で、意識的に子ども同士の意見交換をさせ試行錯誤を繰り返させる。学力は授業の中で育つ。

教師陣に力をつけることが教育の基本である。聖籠町では、聖籠町家庭・地域教育審議会の中問答申を受け、短期学力向上対策「放課後学習クラブ」の事業を開始した。ここ数年、次々に教育施策を講じているが、どのように結果を検証し

分析しているか。

教育長 学力向上のためには学習意欲、学習習慣が必要であり、基本的に学校が担わなければならないと思っている。

町の方針で地域とともに学校を育てる観点から、今まで施策を講じてきた。「放課後学習クラブ」は、参加者が少ない現実だが、3年をめぐりに続けたい。今後も施策のデータを分析して改善をはかりたい。



▲よく遊び よく学べ 子どもたち

新規事業の具体的な計画は

教育長 今後みらいのたねと協議

問 21年度から「学校支援地域本部事業」が計画されている。

既存している「学校運営協議会」との整合をどう考えているか。また同じような人達が関わり、

一般の人にとって遠い組織になるのではと危ぐする。

教育長 学校支援地域本部とみらいのたねがイコールという形にしたい。どんぐり隊も一緒に所

管は社会教育課に移す。この事業には、コーディネーターの存在が非常に重要である。まだ決定していないが、3人の候補者から選出したい。

新型インフルエンザの対応策は

町長 早い時期に対策を講じる

問 マスクミ等で新型インフルエンザが大流行した場合の被害想定が報道されている。他国では死者が開始している。

国・県の対策、対応策が、示された。町も早急に対応策を検討すべきである。

町長 県の対策用チラシ等を活用し町民に周知徹底したい。

広報等に医師との対談方式で記事を掲載したりふれあいトーク等で町民に対し啓発したい。

販売完了見込みは

町長 住宅形成まで10年

問 次第浜浜山土地区画整理事業の住宅地販売はここ3年間33件、22件、47件と推移している。

全体計画、400件の販売完了見込みはいつ頃と考えているか。

事業計画が一定の見込みが立った時点での「ふれあいセンター」建設は理解できるが、現時点では時期尚早であり、しかも昨年の予算委員会でも6000万円位と答弁しているのに、今回なぜ約9000万円なのか。

建設後の管理費負担は誰が行い、地元住民の負担はあるのか。

役場周辺の都市開発については、浜山地区開発の完了有無にかかわらず、人口対策という観点から判断すべきでないか。

町長 計画の全体が住宅形成されていくには、今後10年位必要とみている。ふれあいセンター建設は国土交通省のまちづくり交付金を充当して、事業を進めているので理解願いたい。建設の設置事

業者は町なので、集落入居者の管理費負担はない。役場周辺の都市開発は市街化区域の線引き見直しによって、二次、三次計画も大事なエリアと考



▲ウェルネスパークにオープンした老人ホーム

米飯週5日制を

教育長 多様な体験を

問 県内各市町村で週5日米飯給食が増えている。聖籠町の学校給食を5日米飯にする考えはないか。

教育長 多様な食事体験（パンやめん等）をさせた。21年度も米飯は週4日で考えている。



五十嵐 利栄議員

安全対策大丈夫か

町長 点検で危険箇所を改善

問 給食配送中に発生した死亡事故以降、設備や作業方法の改善を行ったか。また、労働安全衛生法に違反する労務管理体制はなかったか。

2月にお年寄りが、川に落ちて亡くなった。老人や子どもを事故から守るために、防護柵について総点検し、対策をとるべきでないか。

町長 安全対策は所要の範囲で指示し、確認しながら対策をとるよう指示している。

「労働安全衛生法」に違反する管理体制はなかった。

危険箇所の点検を週一回青パトで実施している。危険箇所がある場合、各管理者に改善するよう要請していく。



小川 益一郎議員

問 次第浜村下開発区域には、まだ15〜16棟の住宅しか建っていない場所に、8890万円という膨大な建物を今から建設することに甚だ疑問である。

受益者負担もなく大きな建物を作って、今誰が使用するのか。

国交省の交付金事業だというけれども、昨年度は取得している訳だから、土地が完売してから建設したらどうか。

完売は10年後と報告しているのに、なぜ急ぐ。

町長 現在20世帯で、造成地に住宅等が建てられ集落形成がなされた時点での建設が妥当かの趣旨であるが、当事業は国の交付金事業の認定を受けている。

村下地区のみでなく、町民が保健福祉や社会教育などの多様な利用ができる地区公民館的な施設機能として活用を考えている。

町長 国の交付金事業のため

ふれあいセンター建設は時期尚早



▲加工センター建築予定地

問 農産物加工センターの建設は関係者からの陳情もなく常任委員会内の議論もなく、国・県の補助金も受益者負担もなく8100万円余の町税が投資されることになる。

地場物産(株)の裏に約2000平方メートルの土地取得886万円、サクラノボの補償金1000万円、51坪の建築費3540万円、物品購入2300万円等である。

この事業主体はどこでやるのか。維持管理、生産、加工、販売、消費、

農産物加工センターは町民の合意を得よ

町長 農業振興の一環

収支計算等具体的な計画を示してもらいたい。

補助金なしで町費のみでやる理由は。また、議会提案前に関係者に同意を求めることは事前着工で議会軽視とならないか。

町長 農産物加工センターの建設は町で行い、管理運営については聖籠地場物産(株)への指定管理並びに財産の無償貸し付け等を含め、施設機能が効率的、効果的に発揮できるように、地場物産(株)と協議したい。

加工品目は、漬物、もち米利用の加工、みその加工を想定している。

加工品目の規模や位置は地産地消協議会の意見集約である。

国・県の補助は柔軟な施設利用を制限するし、会計検査院の検査も伴う。農業振興の立場で建設したい。

どうする町民との絆

町長 ボトムアップで

問 町民を主体とした町政の実施を標榜し「ふれあいトーク」等を町長就任以来実施している。これらが時間の経過とともに形が変化しているのか。

町民の迎合となつては、いないのか。

真に町民主体の行政を実施するには、何が重要と考えているか。

町長 基本的に、ふれあいトークを続けることが町民との結びつきを強くし、こうした対話を中心とした、行政運営を実施していく。



小林 政榮議員

問 平成19年度以降、国の農業政策は大きく変化した。面積割当てから、出荷数量の割当てに変わると同時に、方針作成者制度が導入された。

こうした制度の基本的な枠組みの変化を、どのように捉え、対応するか。

町長 国の動向を踏まえて

町長 生産調整に対して継続的に協力いただいた農家に対し、より効果的な助成措置を国、県の動向を踏まえながら対応していきたい。

生産調整はどうする



▲楽しみな秋の収穫

問 バイオマスタウンの構想が公表されているが、町長は、構想作成の過程において、町民の意見、意思の確認を「時間」がなかったことを理由に実施しなかったと、明言している。

この間十分な時間があつたと思うが、町民の意見、意思はどのように確認したか。

町長 制度的に町民の意見を聞く場はないが、必要に応じて考えたい。

認定された構想について今後、実証試験等検討する。

どんな町を創造するのか

町長 事業化を検討

問 ごみ処理問題は、極めて公益性の高い問題であり、環境負荷の低減に直結する。

有機資源のリサイクルとして生ごみ問題は、早急に対応すべき重要課題である。

直ちに全町を対象とした、生ごみリサイクルを実施すべきでないか。

町長 町有機栽培研究会の協力で、栽培実証試験を実施してきた。ほぼ良好な結果を得た。

全町を対象とした場合いくつかの不明確な部分があるので調査を続けたい。

全町化へ 取り組むべき 継続調査 をしたい



加藤 正之議員

給食なぜ翌日も続けた

教育長 適正だった

問 昨年、学校給食配送業務で死亡事故が発生したが、翌日も予定通り給食を続けた。その判断は適正だったか。

教育長 事故による児童への影響はほとんどなかった。調理員の対応も可能だった。車を固定することで、同じような事故は起きないと考えた。以上から判断は適正だった。



▲改良前の給食搬入口

ふれあいセンター疑問

町長 公民館の分館として

問 ふれあいセンターが計画されているが、隣にある聖海荘は、5年前と比較すると利用率が15%も減少している。

町長 また、町の体育施設や社会教育施設の利用率も減少している。町民からどのように利用してもらおう考えか。

町長 ふれあいセンターが計画的な利用を基本にして、公民館の分館としての機能を持たせる。

社会教育課長 利用団体が多くなり、希望通りに使えない時もあるが、利用者数は減っているの調査したい。

認定農業者の今後は

町長 自然淘汰されていく

問 認定農業者は122人だが、町の農業を担う上で適正な人数か。また、今後の予測はどうか。

農業委員会 集積が進み、農地を認定農業者で除した場合、平均14ヘクタールで近隣市と似たような数字になるが、町の基盤強化の促進に関する基本的な構想からは多い人数である。

今後の予測は国政レベルの変化もあり大変難しいが、後継者問題なども踏まえ、自然淘汰されていくのではと考える。

米粉パンを給食に

町長 補助金があれば実現

問 農産物加工センターの将来ビジョンをどのようか考えているか。また、米粉製粉機が導入されるが、学校給食で実施されているパンや麺類の日を、町内産の米粉から作ったパンや麺類に替えることはできないか。

町長 商業ベース体制にのり、農家経営の安定に

教育長 小麦が高騰した折、試みに使ったことがあるが、栄養士も問題ないと言っている。価格が高くなるので、補助金があれば実現性は高い。

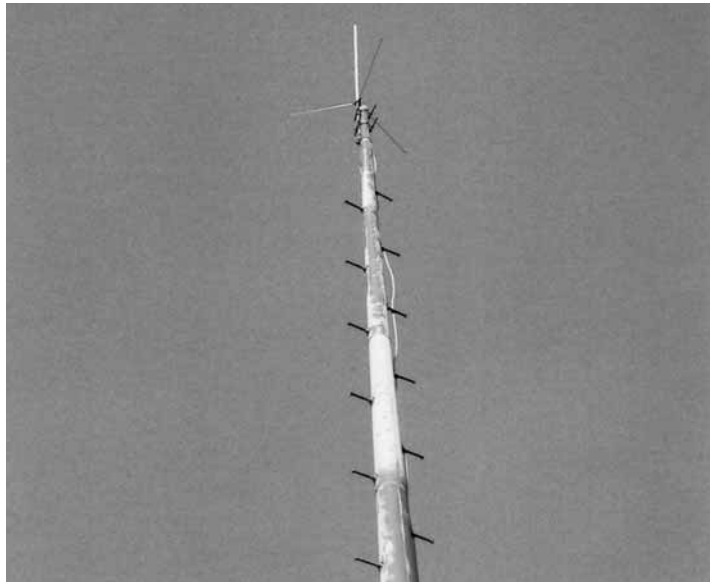
避雷針を設置せよ

町長 対策のできるものは前向きに

問 最近では落雷による被害が続発している。昨年11月には地元集落に多大な被害があり、1月26日には網代浜地区で火災が発生した。各集落に避雷針を設置すべきでないか。

町長 落雷対策については、各住宅で対応してもらうが、町民に向け啓発したい。

対策のできるものは、前向きに取り組みたい。



▲急げ避雷針の設置

資格証発行はするな

町長 機械的に交付しない

問 後期高齢者医療制度では、納付相談を十分に、単に資格証発行はすべきでない。

町長 後期高齢者医療保険料の滞納による短期証及び資格証の発行の交付

については、広域連合と市町村が連携を密にして行う。

安易に機械的に交付せず、滞納事情等細かに相談し、慎重に対応していく。

国に要望すべき

町長 国に対し要望している

問 ①介護保険料、利用料の減免がほかの利用者の負担増にしわ寄せされないよう減免分は、国庫負担するよう国に求めるべきでないか。②戦後のベビーブーム世代が高齢になる2015年間に間にあうよう、緊急5ヵ年計画を自治体でつくるべきでないか。③介護職での人材不足を、労働条件の改善や雇用創出をはかるべきでないか。④高齢者の生活支援や健康づくり

に自治体が責任を果たすべきでないか。

町長 ①介護保険料の個人負担、地方負担が増大している中で、これまでも厚生労働省に対し要望してきた。②現段階では考えていない。③町内3施設では、人材不足の所はない。今後の課題では、介護福祉等のヘルパー、この養成についても必要性があるか、確認しながらいきたい。④高齢者の生活支援、健康づくりは、

特定高齢者運動機能向上事業、らくらく教室を実施している。

今年度から肺炎予防のための口腔ケアの指導、閉じこもり予防が目的の「なじらねクラブ」等、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう取り組みでいかなければならない。



中村 恵美子議員

委員会重要課題

を調査・現地視察

全国コンクールで 入選 議会広報



平成21年2月、議会広報委員会に朗報が届いた。議会だより82号（平成20年4月18日発行）が第23回町議会広報全国コンクールにおいて入選を受賞した。

昨年に引き続き、連続入選である。今回の受賞した82号は、平成19年8月に改選された新メンバーで編集したもので喜びもひとしおであった。

議会広報に携わると実感するのだが、文字数が制限されているので、議会での議論をどこまで原稿

に書けるかということである。読者にとって、読みやすい広報とはどういうものか、今後も研修を重ね、研さんを積んでいかななくてはいけないと思う。研修会などで講師が、町村の議会広報は、市に比べ読みやすくレベルが高いと評価している。

編集委員一同、更なるレベルアップを目指したいと思う。

一般質問の一問一答 方式を研究 議会運営

本委員会は議会内における議論をより活発に発展させるため、以前より一般質問のあり方を検討してきた。

現在の一般質問は事前に通告してある質問を議長席の前に登壇し持ち時間20分、執行部より回答を得たのち、質問席に戻り再質問10分更に再々質問10分の合計40分の質問時間を与えられている。

しかし、この質問方式では深まった議論ができないため、一問一答に議論したらどうかと研究してきた。

このことを踏まえて、県内で一問一答方式を採用している2町村を視察研修してきた。

12月12日、湯沢町議会を視察した。

湯沢町は一問につき3回まで質問可能であるが、持ち時間60分以内で終ることになっていた。

12月16日、弥彦村議会を視察したが、弥彦村では一質問に時間制限はないが全質問を30分以内で終る方式であった。

質問の内容が深く濃い議論ができた。大変参考となった。



今後さらに研究し本議会に適したものを採用したい。

給食搬入口の改良 工事を調査 総務文教



1月22日、学校給食コンテナ落下死亡事故について調査を行った。

調理場では以前は実施していなかったが、週に1回朝のミーティングを行い、職員の声を聞いている。また、組織として問題があった。

たことから、新年度からは次長・栄養士・総括責任者（聖籠の杜）の3者で運営部会を設けるとのことだった。

給食配送車と搬入口の高さ調整の改良工事が行われた。亀代小学校と蓮野小学校の現場を視察調査した。亀代小学校はアスファルトが盛られて高低差は改善されていたが、路面には傾斜があり、車止めやサイドブレーキ等を掛けない場合は車が自然に前に出る構造であった。また、蓮野小学校は搬入口に対して配送車が斜めに停車する構造になっていた。

以上の点から両校とも十分な改良工事が施されたとは言えない。作業の安全を確保するためにも更なる検討を望む。

「とれたたて市場」 などを調査 厚生産業

1月26日、後期高齢者医療制度について、聖籠町の介護保険施設について、及び農業政策について調査を行い、地場物産館内農家直売組織「とれたたて市場」を現地調査した。

①後期高齢者医療制度の町内対象者は1521人で、この内女性の割合は66%である。1月15日現在の滞納金は43人で滞納金額は109万円である。

②聖籠町民が入居している、介護保険施設は、19施設で入居者数は125人である。町内の介護施設「聖豊」はすがた園「汐彩の郷」グループホーム「せいろう」はいずれも満床状態



で、待機者はそれぞれ、299人、26人、0人である。

③農業政策について前年の生産調整未達成分、27・61トン分面積が削減され、より厳しくなった数字を達成するため、町単独で新たな助成制度を新設して対応する。

お知らせ

町政を知るよい機会
議会を傍聴してみませんか
今、町ではどんなことが論議されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのだろうか。

あなたに身近なことも知れません。

だれでも傍聴できますので、ぜひ一度おいでください。

おいでになれなかったときでも、町図書館と保健センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧ください。

次回定例会は、6月中旬の予定です。



お願い

あなたもみんなのページ
聖籠町に嫁いで来た
お嫁さんに出てみませんか！
もし、私もと思っている方はご連絡下さい。

対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。
(連絡先)

町役場議会事務局
☎0254-27-1967 (直通)

議会広報対策 特別委員会

議長	須貝 龍夫
委員長	宮沢 光子
副委員長	高松 守雄
委員	小川益一郎
	中村恵美子
	田村富美男
	小林 政榮

みんな



ページ

聖籠町に嫁いで来た お嫁さん



齋藤 あすか さん
(蓮湯)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？
友人同士の飲み会で彼と知り合うことができました。始めに話しかけたのは私からで、彼は静かで真面目そうな人でした。

Q 聖籠町に嫁いで来て
どんなイメージを持ちましたか？

こども園の保育料が無料だということを知りとても驚き、子育て支援が充実している町だなと思いました。

私も将来子どもができた時、とても助かります。また、聖籠町は以前私が住んでいた場所に似ていて、自然が豊かで住みやすく、子育てにも最高の環境だと思います。

Q 町での生活はどうですか？
毎日、家族仲よく過ごしています。
夏には、私が家庭菜園で育てた野菜を家族に食べてもらっています。みんな喜んで食べてくれるので嬉しいです。
今年もどんな野菜を育てようか考え中です。

Q 町に望むことはありますか？
子どもやお年寄りに優しい町に、そして町に住んでいるすべての人が安心して暮らせる町になることを願っています。

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん、今回は新潟市出身で平成19年11月に蓮湯に嫁いで来た齋藤 あすか(旧姓 涌井)さんです。
皆さんよろしくお願います。

編集後記

小泉構造改革の一翼を担った経済学者、中谷巖さんが、自戒の念を込めた本を出版し話題を集めています。「改革」という名で行われた、法律改正によって、気がつけば日本の国は、格差拡大で貧困化が大きく表に出てきました。気持ちのやり場のない人達の考えられない事件続出。今一度、立ち止まって「構造改革」の功罪を検証してもらいたいものです。国会議員のふんばりどころなのに、国会議員の方に目が向いていない気がしてなりません。

次から次と出る、国会議員の失言、不祥事に啞然としています。危機感がなさ過ぎです。

人は自分の地位や肩書きに溺れていると、何かあった時、正しい判断が下せなくなりそうです。日頃から、自分を省みる習慣をつけておく事の大事さを改めて感じています。

議会広報対策特別委員会
委員長 宮沢 光子